

<p>1. 宮崎 政國 (創風)</p>	<p>1. 議案第 234 号平成 26 年度上越市一般会計歳入歳出決算認定について</p> <p>(1) 市長は、平成 26 年度の市政運営を振り返って、「市町村合併から 10 年を迎える中で、高田開府 400 年、そして北陸新幹線の開業という大きな節目を捉え」様々な施策を実施したほか、「第 6 次総合計画を始めとする主要計画の策定など」に取り組んだとしている。こうした中で、交流人口の拡大、公の施設の再配置計画、2 次交通の充実など課題も見えてきたと思うが、平成 26 年度の総括を聞きたい。</p> <p>(2) 平成 26 年度の我が国の経済について、国内総生産の実質成長率がマイナス 0.9%と見込みを下回ったが、下半期以降は再びプラスに転じたとしている。しかし、市内小規模事業者にその効果が波及していないと考えるが、こうした状況をどのように認識し、各施策に取り組んできたか。また、現状をどう見ているか聞きたい。</p> <p>(3) 市債残高が約 1,220 億 8,700 万円となっている。合併特例債、過疎債など、各種有利債等で交付税措置される制度を活用しているが、少子高齢化等による人口減少時代を迎え、後年度の負担増が懸念される。負担軽減のためにも市債発行の考え方と、今後のあり方について聞きたい。</p> <p>2. 議案第 234 号平成 26 年度上越市一般会計歳入歳出決算認定及び議案第 235 号平成 26 年度上越市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について</p> <p>(1) 収入未済額が前年度より減少し、債権徴収に対する一定の努力は伺えるが、いまだに 28 億 1,739 万円となっている。市税では 12 億 1,200 万円、国民健康保険税では 11 億 6,736 万円であり、市政運営に少なからず影響を及ぼしていると考えますが、債権徴収にどのように取り組んできたか聞きたい。</p>
--------------------------	--

<p>2. 杉田 勝典 (公明党)</p>	<p>1. 議案第 234 号平成 26 年度上越市一般会計歳入歳出決算認定について</p> <p>(1) 「北陸新幹線開業に向けたまちづくり」について、当初掲げた「知名度向上」や「広域交流の実現」などの取組をどのように総括しているか。</p> <p>(2) 「中山間地域の振興」について、過疎化が進み、地域で支え合う力が低下しているが、平成 26 年度の取組を通じ、どのような課題や懸念、認識を持っているか。</p> <p>(3) 高田開府 400 年記念事業について、観光客の誘客やまちのにぎわい創出の観点から、事業の成果をどのように総括しているか。</p> <p>(4) 市税の増加などにより自主財源比率が改善された。法人市民税や固定資産税など、市税の動向や実態をどう分析しているか。</p> <p>(5) 平成 26 年度に取り組んだ経済対策により、民間における雇用の創出や市内経済の活性化にどのような効果があったと分析しているか。</p> <p>2. 議案第 240 号平成 26 年度上越市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について</p> <p>(1) 介護保険認定者数は前年度比 328 人増の 13,260 人、保険給付費も伸び幅は抑制されたが前年度比で約 6 億円増の 209 億円超となった。増加する介護保険認定者や保険給付費への対策は適切だったのか。また、介護状態の改善に向けた取組は、どのように行われていたか。</p> <p>3. 議案第 250 号平成 27 年度上越市一般会計補正予算（第 2 号）について</p> <p>(1) 観光費の増額補正により、上田市等との広域的な観光連携の強化を図るとしているが、具体的に「上杉おもてなし武将隊」の活動がどのように充実するのか。</p>
---------------------------	--

<p>3. 柳沢 周治 (市民クラブ)</p>	<p>1. 平成 26 年度の市政運営について</p> <p>(1) 平成 26 年度は、第 5 次行政改革大綱の策定など、今後の人口減や財政問題を見据えた行政のスリム化・効率化に向けたスタートの年でもあった。については、行革などの市民負担に影響する施策の推進には、市民との合意形成づくりが欠かせないが、市政運営の重要なテーマとして、どう総括しているか。</p> <p>2. 議案第 234 号平成 26 年度上越市一般会計歳入歳出決算認定について</p> <p>(1) 市政運営の 4 つの視点の 1 つ「あんしん」の防災対策について、避難所見直しや津波・洪水ハザードマップの作成配布など、大規模災害への備えの強化を進めた。一方で、災害以外の日常発生する犯罪対策の 1 つとして、その抑止効果が高いとされる「防犯カメラの設置拡充等」については、どのような議論と総括をしているか。</p> <p>3. 議案第 235 号平成 26 年度上越市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定及び議案第 240 号平成 26 年度上越市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について</p> <p>(1) 生活習慣病予防など、保健事業の取組強化で、保険給付費の伸びが抑制されるなど、国民健康保険特別会計に改善傾向が見られたことは評価される。一方で、介護保険特別会計の保険給付費は、前年度に続き伸び率が鈍化したとはいえ、3%アップの約 6 億円増になるなど、認定者数の増加とともに、会計規模も 200 億円台と右肩上がりになっている。医療と介護の相乗効果に弱さを感じるが、傾向をどう分析し、今後の展望はどうか。</p> <p>4. 議案第 245 号平成 26 年度上越市病院事業会計決算認定について</p> <p>(1) 特別損益を除いた収益的収支では、実質黒字計上の順調な病院経営であったと思うが、今後の医師確保対策や介護・訪看・訪診・訪問リハなどの機能強化・拡充を考えたとき、その根幹をなすべき病院改築の検討と今後のあり方について、どう議論してきたか。</p> <p>5. 議案第 246 号平成 26 年度上越市ガス事業会計決算認定及び利益の処分、議案第 247 号平成 26 年度上越市水道事業会計決算認定及び利益の処分について</p> <p>(1) ガス・水道事業は料金改定効果や企業会計制度の見直しに伴い、それぞれが純利益を計上し、厳しい環境下ながらも健全な会計が維持された。しかし、この間発覚したガス・水道本支管工事を巡る談合疑惑に対する現状や、今後の進展見込みは全く不透明な状況に置かれているが、公正取引委</p>
-----------------------------	---

	<p>員会への通知後のその後の動きなどはどうなっているのか。また、この問題にどう対応してきたのか。</p> <p>6. 議案第 255 号上越市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について</p> <p>(1) 本年 10 月通知、来年 1 月から実施される個人番号制度の導入は、行政の効率化には大いに寄与する制度と思うが、市民の個人情報漏えいに対する不安や使われることへの不信が積みまとう。この制度のもつ効果と問題点をどう認識しているか。</p>
--	--

<p>4. 飯塚 義隆 (新政)</p>	<p>1. 議案第 234 号平成 26 年度上越市一般会計歳入歳出決算認定について</p> <p>(1) 平成 27 年度から実施される普通交付税の合併特例措置の段階的縮小を見据え、第 4 次行政改革大綱と同推進計画に基づく行財政改革に取り組み、市長は、「総じていずれもおおむね順調に進捗した」と総括しているが、次の点について聞きたい。</p> <p>ア 行財政改革による平成 26 年度末時点の削減額はいくらか。</p> <p>イ 国では、合併団体の財政需要を反映した普通交付税の算定方法の見直しを行い、平成 26 年度から一本算定に「支所経費」を加算するとしているが、この加算額はいくらか。また、広域な市域を有する当市の現状から、国が示した経費以外にも加算すべき行政需要を研究し、国に要望を行っているか。</p> <p>ウ 第 1 次財政計画では、普通交付税が段階的に縮小され、平成 32 年度以降、合併当時の普通交付税額と比較すると、年間 84 億円減少すると見込んでいたが、第 2 次財政計画では、年間 35 億円の減少と見込んでいる。こうした状況変化のほか、行財政改革による経費削減効果も踏まえ、市民要望の強い事業や公の施設の再配置計画を見直すことも可能ではないか。</p> <p>エ 学びの場の充実に向け、(仮称) 厚生産業会館及び新水族博物館の建設に向けた設計業務等を行った。これら大型事業の事業費が第 2 次財政計画に反映されているものの、この事業費が起因し、今後更なる行財政改革を求められることはないのか。</p> <p>(2) 上越妙高駅の開業効果を高めるための各施策について、その成果を含め、取組状況をどのように評価しているか。また、開業後の 2 次交通の整備、並行在来線への接続状況、上越妙高駅への駐車台数と駐車料金、駅周辺土地利用の実態等についての課題と対策を聞きたい。</p>
--------------------------	---

<p>5. 内山 米六 (みらい)</p>	<p>1. 議案第 234 号平成 26 年度上越市一般会計歳入歳出決算認定について</p> <p>(1) 災害に強いまちづくりについて、以下のことを聞きたい。</p> <p>ア 自主防災組織の資機材整備や防災訓練への支援を通じて地域防災力の向上を図ったとしているが、防災訓練を実施していない地区も存在する。それらの地区への対策をどのように考えているか。</p> <p>イ 県の津波浸水想定に基づき、津波避難困難区域の課題解決に向けた基本調査など各種対策を実施したとしているが、県の津波浸水想定の見直し時期とその対応をどう考えているか。</p> <p>ウ 原子力災害対策として、原子力防災の基礎知識や資機材の操作方法などを習得する職員研修を実施したとしているが、この種の業務は、市民の命を直接守るという重要な職務上の特性がある。知識や技術を継承するための人材育成が十分図られたと考えているか。</p> <p>(2) 旧土地開発公社からの代物弁済に伴い、市は多くの土地を普通財産として保有した。これまでに売却や貸付、そのほか有効活用された資産の実態を聞きたい。また、残る資産の処分方針を聞きたい。</p> <p>2. 議案第 234 号平成 26 年度上越市一般会計歳入歳出決算認定及び議案第 238 号平成 26 年度上越市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について</p> <p>(1) 不納欠損処分について、以下のことを聞きたい。</p> <p>ア 一般会計において、滞納整理を進めたとしているが、多額の不納欠損が生じている。この原因は何か。</p> <p>イ 下水道事業特別会計において、受益者分担金・負担金の収納率は総体では改善しているが、滞納繰越分の不納欠損が生じている。使用料でも生じているが、原因は何か。</p>
---------------------------	---

<p>6. 上野 公悦 (日本共産党議員団)</p>	<p>1. 議案第 234 号平成 26 年度上越市一般会計歳入歳出決算認定について</p> <p>(1) 第 4 次行政改革の取組について、以下のことを聞きたい。</p> <p>ア 「行財政改革による行財政運営の適正化」について、「真に必要なサービスの安定的な提供と将来への価値ある投資の実現に向けた取組を推進」したとあるが、「真に必要なサービス」をどう捉えているか。また、第 4 次行政改革の取組が、「真に必要なサービス」の安定的な提供にどのように資する結果になったのか。</p> <p>イ 総合事務所の産業建設グループ業務の集約では、集約元の住民の実感をどのように把握してきたか。また、本実施後の検証をどのように行ってきたか。あわせて、今後も検証を行う考えはあるか。</p> <p>(2) 「北陸新幹線開業に向けたまちづくり」について、以下のことを聞きたい。</p> <p>ア 北陸新幹線開業による観光や市内経済への効果をどのように捉えているか。また、これまでの市の北陸新幹線に対する投資に比して、どの程度の効果が得られたと考えているか。</p> <p>イ 上越妙高駅周辺の土地利用、産業立地に関して、現時点での目標はあるか。また、これまでの取組の評価を聞きたい。</p> <p>ウ 新幹線まちづくり推進上越広域連携会議の取組やメイド・イン上越推進事業など、上越地域の魅力、食や技術の PR に取り組んできたとしているが、その効果をどう評価しているか。</p> <p>2. 議案第 250 号平成 27 年度上越市一般会計補正予算（第 2 号）、議案第 255 号上越市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定、議案第 256 号上越市個人情報保護条例の一部改正及び議案第 257 号上越市手数料条例の一部改正について</p> <p>(1) 社会保障・税番号制度の導入によって「通知カード」「個人番号カード」を交付するとのことだが、制度導入に当たり、個人情報保護等の観点から自治体の役割をどう考えているか。</p> <p>(2) 制度導入による市内事業者の負担をどう捉えているか。また、どのように対処する考えか。</p>
--------------------------------	---